



前川中だより

教育目標 「自学」・「親愛」・「鍛錬」
「MAEKAWA PRIDE」～積小為大を实践する学校～
三郷市立前川中学校 令和8年6月1日(月)
生徒数 1年126名 2年92名 3年131名 特支18名 計367名

「社会力」に思いを寄せて。

校長 中三川 真弓

5月30日(土)、初夏の快晴に恵まれ、第45回体育祭が行われました。“暑い”けど“熱い”大成功の体育祭でした。準備から本番まで支えてくれた実行委員さんや専門委員会の皆さん、その他部活動単位でお手伝いしてくれた皆さんに心から感謝します。

さて、「大きい声」には少々敏感な私です(学校だより5月号参照)。体育祭当日も響き渡った皆さんの「よい大きい声」に触れて、体育祭を終えての思いを述べさせていただきます。

➤はじめに、1年生の皆さんへ。

自分のクラスも他のクラスも、先輩たちもぜ～んぶひっくるめて声の限り一生懸命応援する姿がとても印象的でした。持ち前の元気な「よい大きな声」が校庭に響き渡っていました。何事も臆せず「まずやってみよう」という頑張り屋さんが多いあなたたちですが、まだまだ「大きな声」のよい使い方はお勉強中です。体育祭で使った「よい大きな声」の意味をしっかりと覚えておきましょう。それでも、見よう見まねでも健気に自分の仕事を全うしようとする実行委員さんや、ちょっと担当の仕事で失敗をしたのか、これはこうなんだよと先輩に諭されて、「ごめんなさい」って言いながら素直にうなずいていた人を見ました。それはそれでとても健気で、なんだか可愛かったなあ。

➤続いて、2年生の皆さんへ。

あなたたちは、日頃から人から言われなくても先を読んで自分から動こうとする人が多いです。と私は思っています。体育祭でもそのよさを発揮していました。と褒めておきながら恐縮ですが、思い返せば1年前、間違いなく1年生の時はここまで立派ではありませんでした(キッパリ)。競技への取組姿勢はもちろん、座席でのマナー、3年生への協力とお手伝いをこなす姿、引き締まった表情を見て、たった1年でいつこんなに立派になったかと感慨深かったです。1、3年生より1クラス少ない2年生集団ですが、「よい大きな声」を互いに掛け合って仲間意識を高めて団結するあなたたちには、少ない人数を感じさせない迫力と団結力がありました。

➤そして、3年生のみなさんへ。

「学校の顔」として体育祭を成功に導いてくれてありがとうございました。「よい大きい声」を使って大集団を瞬時にまとめてしまう統率力、進行を仕切る運営力。あなたたちがこだわった「全校生徒で組む円陣」にも、その発想力には驚かされました。ただ目立ちたいだけではない、ちゃんと「全校円陣」の意味を示して、計画して、予行で1度組んでみて、これでいける!と本番に向かうという段取りの誠実さには、驚きを超えて感服しました。あなたたちが求めたのは、単なる“盛り上がり”を目的とするサプライズ企画などではありませんでした。体育祭という大切な行事の品位を守った上での、前川中の仲間たち全員に向けた「自分たちのこれからの在り方」の共有だったのですね。あなたたちの協働力に裏打ちされたプライドに学ばせていただいた思いがします。

「よい大きい声」はこうやって使うんだ、とみんなに教えてくれたのは、私ではなく、あなたたちでした。私が目指していた生徒集団を、あなたたちがつくり上げてしまったといっても過言ではありません。

体育祭に見た、皆さんの「社会力」の芽生え。この芽を育て、花を咲かせて、身を熟させていくのは、これからの皆さん一人一人です。

6月の予定

日	曜	行 事
1	月	体育祭予備日②(雨天時火曜授業)
2	火	振替休業日
3	水	第1回東部地区学力検査(3年)
4	木	B日課/中央委員会
5	金	戸ヶ崎祭禮/B日課
6	土	戸ヶ崎祭禮
7	日	戸ヶ崎祭禮
8	月	学校総合体育大会① ふれあい音楽会(戸ヶ崎小)
9	火	学校総合体育大会② ふれあい音楽会(前谷小)
10	水	学校総合体育大会③
11	木	学校総合体育大会予備日
12	金	学校総合体育大会予備日
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	学校総合体育大会(陸上)
17	水	学校総合体育大会予備日(陸上) 前川エコステーション開設
18	木	期末テスト1日目
19	金	期末テスト2日目/専門委員会
20	土	
21	日	
22	月	全校集会
23	火	
24	水	3年午後カット/ふれあいデー 職場体験事前訪問(2年)
25	木	修学旅行(3年)
26	金	修学旅行(3年)
27	土	修学旅行(3年)
28	日	創立記念日
29	月	振替休業日(3年)
30	火	職場体験学習(2年)

↑
部・諸活動停止
↓

7月の予定

日	曜	行 事
1	水	職場体験学習(2年) 租税教室(3年)
2	木	職業体験学習(2年)
3	金	B日課/中央委員会/避難訓練(水災)
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	B日課/専門委員会
8	水	
9	木	第2回保護者会/進路セミナー(3年) 携帯電話安全教室
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	B日課/給食終了/表彰集会
15	水	前川エコステーション/ふれあいデー SOSの出し方に関する教育
16	木	C日課
17	金	終業式
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	
22	水	↑教育相談週間(29日まで)
23	木	
24	金	
25	土	科学の甲子園ジュニア
26	日	科学の甲子園ジュニア(予備日)
27	月	
28	火	
29	水	↓
30	木	

第1回学校運営協議会開催

5月25日(月)、第1回学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を開催しました。会議では、今年度の前川中学校を起点とした様々な教育活動・地域活動等について意見交換を行いました。保護者の皆様にも、これから実施される取組へのご理解とご協力をお願いします。

【委員(5名)】 〇〇〇様 〇〇〇様 〇〇〇様 〇〇〇様 〇〇〇様



PTA朝のあいさつ運動 5月11日(月)～15日(金)

5月11日(月)～5月15日(金)、PTA朝のあいさつ運動が行われました。

前川中生の明るく元気なあいさつは、すでに本校の日常的な登校風景の一部となっていますが、その前川中生をご家庭で育ててきた保護者の皆様の、さらに明るく元気なあいさつが加わったことにより、「埼玉県内で一番、登校風景が爽やかな学校ではないか」と感じる5日間でした。生徒の皆さんも、普段より、さらに大きな声で保護者の方へあいさつしていましたね。

参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



資源回収・除草作業

5月23日(土)

5月23日(土)、資源回収及び除草作業を行いました。

当日は、多くの部活動の2・3年生、30名以上の保護者の方、1年生の有志、卒業生など、多くの人の協力により、1時間足らずの取組の中、あっという間にトラック数台分の資源が回収され、ゴミ袋20枚以上の草木が取り除かれていきました。一体感のあるテキパキとした迅速な行動は、前川中学校の強みの1つですね。



生徒総会「AKBからAYKへ！」

5月27日(水)

5月27日(水)、生徒総会を行いました。

今年度は、最も大きな議題として、前川中生徒会活動方針の変更が生徒会本部から提案されました。生徒会本部では、長年定着してきた「A(あいさつ)K(きれいな環境)B(勉強)」は多くの生徒が達成できていると考え、前川中学校をよりよい学校にしていくためには、どんな活動方針がふさわしいのか、かなりの時間とエネルギーをかけて、検討しました。結果、活動方針を新たに「A(あいさつ)Y(友情)K(個性)」へと発展することで、人としての基本であるあいさつの大切さを起点に、学校生活の中で育む友情により、一人一人の個性をさらに磨いていくという、前川中生の新たな挑戦を明確に打ち出しました。

生徒会本部役員の、慣れ親しんだものに満足せずに次の目標を目指す挑戦的な姿勢、ぜひ学校全体で共有したいですね。



体育祭

5月30日(土)

5月30日(土)に第45回体育祭を行いました。『限界突破～目指せ、努来勝(どっこいしょ)～』のスローガンどおり、勝利を目指し、自分やクラスの限界を突破しようと一人一人が全力を尽くしていました。これまでの練習期間を含め、本番での各種目の経過や勝敗を通じて、たくさんの笑顔や歓声があふれ、時には涙もありましたが、勝ち負け以上に大切な思い出を数多く共有できたのではないのでしょうか。ご来賓や近隣老人会の皆様からは、「前川中生の全力で取り組む姿を見ると、自分の腰が悪いのを忘れてしまう程元気が出る」などの嬉しい言葉をたくさんいただきました。

また、今回の体育祭の成功は、PTA役員の皆様の協力によるものです。当日の受付等はもちろんのこと、準備段階から多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。施設面でも、昨年度に引き続き、新たなテントを前川中学校45周年記念に寄贈いただき、重ねてありがとうございました。今後も活用させていただきます。暑さ対策のテントについては、近隣小学校からもご厚意でたくさん貸していただきました。

生徒の皆さんが取り組んでいる様々な行事や取組は、保護者の方をはじめとして、多くの人の協力や応援、理解によって成り立っていることに、これからも感謝していきましょう。



優勝おめでとう！！

1 学年優勝… 2 組

2 学年優勝… 3 組

3 学年優勝… 1 組

新しいALTの先生

4月末から、XXXXXXXXXX先生に代わり、新たにXXXXXXXXXX先生が本校の英語指導に加わりました。

生徒の皆さんは、XXXXXXXXXX先生へ積極的に自分から質問をしたり、助言を求めたりすることで、手段としてのみならず、人間同士の豊かなコミュニケーションとしての英語を学んでいきましょう。

